

年 組 氏名:

実験名: 干潟の生き物観察

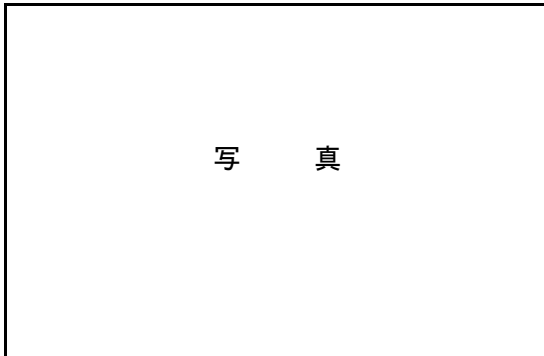
(目的)

干潟にいろいろな生き物が暮らしている。そこで、ヨシ原前の干潟、石ころが転がる干潟、穴がたくさんある干潟、水際の4つの場所で生き物を採集し、どんな生き物がどのくらいそこに暮らしているか調べた。

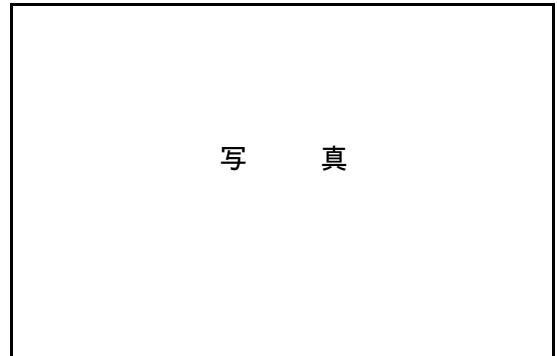
(材料)

スコップ、30cm物差し、バケツ、ザル、バット、ピンセット、記録帳、カメラ

(観察場所)



① ヨシ原の前



② 石ころが転がっている場所



③ 穴が空いている場所



④ 水際

(観察方法)

1. 各調査場所で、干潟の泥を縦25cm・横25cm・深さ20cmで取る。
2. 取った泥をザルに少しずつ入れて、水の中でふるう。
3. ザルに残った生き物をバットに移し、種類ごとに分け、写真をとる、種類数と各種類の数を記録した。
4. わからない種類の生き物がいたので、その生き物のアップ写真をとる、後で図鑑で調べた。

(観察結果)

① ヨシ原の前



種類	数
〇〇ガイ	2
その他不明巻き貝	5
〇〇カニ	2
種類数	3
個体数合計	9

② 石ころが転がっている場所



種類	数
ゴカイの仲間	3
不明巻き貝	10
不明二枚貝	1
〇〇カニ	5
種類数	4
個体数合計	19

③ 穴の空いた場所



種類	数
〇〇カニ	6
〇〇エビ	1
種類数	2
個体数合計	7

④ 水際

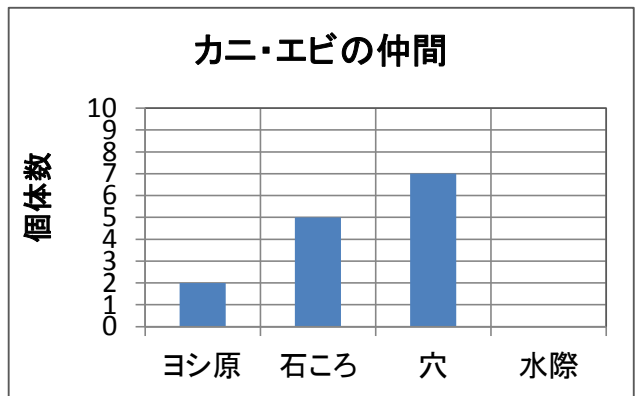
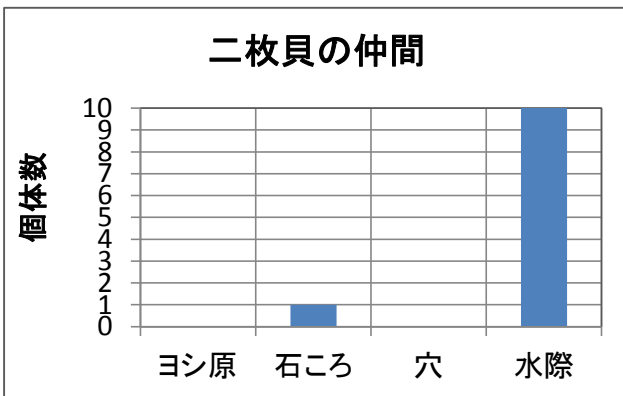
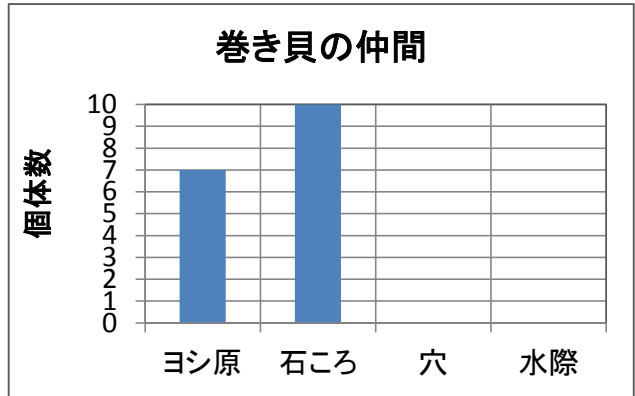
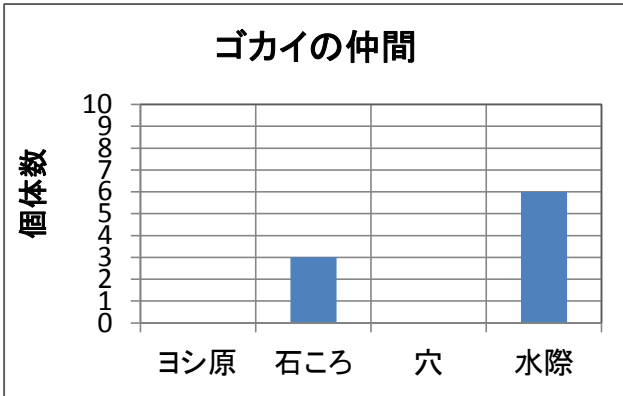


種類	数
ゴカイの仲間	6
〇〇ガイ	7
〇〇ガイ	1
不明二枚貝	2
種類数	4
個体数合計	16

(実験で判ったこと)

※ 以下のように、調査結果を生き物の仲間同士で整理しグラフなどに示すと、どんな場所にどんな生き物が数多く暮らしているか判るよ！

- ・ゴカイの仲間は、石ころの下や水際で発見。特に、水際に多く暮らしていた。
- ・巻貝の仲間は、ヨシ原や石ころなど陸地に近い場所でのみ発見。特に、石ころの上に多く暮らしていた。
- ・二枚貝の仲間は、石ころの下や水際で発見。特に、水際に多くの種類が数多く暮らしていた。
- ・カニ・エビの仲間は、ヨシ原や石ころ、穴のいた場所で発見。穴の空いた場所では、穴の中にカニが暮らしていた。干潟にあいた穴は、カニが暮らす場所と思われた。また、各調査場所でもみたカニは、全て違う形をしていたので、種類が違うと思われた。



(感想)